

教育相談部だより 第13号



本校の教育相談の紹介～地域支援～

特別支援学校には、地域の特別支援教育のセンター的機能の役割があり、小・中学校等からの要請に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の教育に関して必要な助言又は援助を行うことが求められています。本校には、特別支援教育コーディネーター4名がおり、小・中学校等からの要請に応じて教育相談を行っています。本校の教育相談については、「教育相談部だより」でお知らせしており、今回は、「地域支援」について紹介します。



地域支援の相談状況



- 令和7年度は、小学校からの相談が最も多く(全体の約半数)、次いで中学校、高等学校の順でした。相談方法としては、「電話相談」「来校相談」「訪問相談」があります。その中でも、最も要望の多い「来校相談」と「訪問相談」について紹介します。

<来校相談>

- 相談方法では、**来校相談が最も多い(相談方法別の割合59%)**です。来校相談では、就学・進学先を本校(特別支援学校)か、地域の小・中学校等(特別支援学級等)かで迷っている幼児児童生徒の個別の教育相談が多いです。来校者は実際に本校の授業や学校の施設・設備を見学したり、「時間割はなに?」「給食はあるの?」「部活動はあるの?」「通学方法は?」など、心配なこと等を聞いたりしながら、就学・進学先について一緒に考えています。
- 相談時期は、市町村の就学・進学相談会が始まる5月から就学・進学先が決定する1月にかけて相談件数が多いです。

<訪問相談>

- 本校の特別支援教育コーディネーター2名で要請のある学校へ訪問し、児童生徒の困っていることに対して対応策等を一緒に考えています。



小学校

学習に関する相談の次に、気持ちの切り替えやかんしゃく等行動に関する相談が多いです。



中学校

進路に関する相談が多いです。



高等学校

学習の定着や人間関係の形成、自己理解等から、気持ちを表現できず登校を渋るなどの相談が多いです。



幼・保・認定子ども園

発達に関する相談(発音が不明瞭等)や就学に関する相談が多いです。

本校の「教育相談」に対する取組について、新川地区の小・中学校、高等学校にアンケートを実施し、本校への要望や意見等をいただいています。今年度新川地区の小・中学校、高等学校に実施したアンケートの一部を紹介します。



🏠 アンケート対象校及び校数

- 対象校数：新川地区中学校 7校（回答率 約42%）
- 対象校数：新川地区小学校 22校・高校 6校（計 28校）（回答率 約 57%）
- 実施期間：令和7年 12月4日～令和7年12月25日

🏠 アンケート項目

- 「教育相談部だより」「本校ホームページ」の認知度・活用意向・感想等
- 「今後知りたい情報」や「本校への要望」等



🏠 アンケート結果より

- 本校ホームページで閲覧されている内容の多くに、「教材・教具の貸出し」、「教育相談部だより」、「学校公開 DAY 授業一覧」が上がっています。これは、地域の小・中学校等から、特別支援教育に関する情報を知りたいニーズがあると想像されます。これからも、本校の取組を通して特別支援教育について知ってもらう内容となるよう工夫したいと思います。
- 「本校と連携を図りたい」場面については、以下の内容がありました。
 - 児童生徒の状況は日々変化するので、継続して支援方法を相談したい。
 - 通常の学級での教育的支援を必要とする児童生徒の対応について相談したい。
 - 自立活動の具体的な内容や活動について知りたい。
 - 学校で行っている支援がなかなか改善しないときに、専門的な立場からのアドバイスがほしい。販売されている書籍等の紹介だけではなく、本校の「いいな!」と思う取組(教材・教具の工夫や支援方法、児童生徒への関わり方)等についても紹介していきたいと思っています。



地域支援で訪問した学校が実践している教材・教具や支援方法についても校内で紹介していきたいと考えています。

〈教育相談のご案内〉

随時教育相談を受付けています。

相談方法：訪問・来校・電話で相談できます。
相談時間：9：00～17：00

- ※ 本校に在籍する保護者の方は、担任を通してお知らせ下さい。
- ※ 他校に在籍する保護者及び教職員の方は、管理職の先生から、教育相談部教頭にお電話下さい。

相談日については、日程や時間帯を調整させていただきます。
TEL：0765-54-1288 教育相談部担当教頭：中林（なかばやし）



詳細はホームページまたはQRコードをご覧ください。

